

# さんむのふるさと散歩

NO.40

## 成東城の城下寺院

成東旧市街は成東城の城下集落が発展したものです。戦国期になると城郭の規模が拡大し、周囲に武士や、関係する

商工業者が住む町場が形成されました。これが近世の城下町の興りです。成東城の初代城主については千葉氏の第二十一代当主勝胤の弟胤家とするものと、子の胤定とする二説がありますが、いずれにせよ千葉氏惣領家の近親という有力な家柄で、築城の時期は勝胤の生没年から概ね十六世紀の前半と思われる。

そもそも城は領主が地域支配の要所に築くもので、城下は交通の要衝ともなっています。成東城の場合は眼下を東総方面への要道が通り、さらに成東川の水上交通も利用できる場所にあります。成東城下は人や物が集散する町場として中世から賑わいを見せていたのです。

成東の旧市街には狭い範囲に元倡寺、福星寺、本行寺、不動院等の寺院が軒を連ねてい

ますが、これらは城と共に建立、もしくは整備された城下寺院と考えられます。祭政一致の中世には社寺が「まちづくり」に欠かせぬ要素でした。

元倡寺はこの時期武士団と関係の深かった禅宗の寺院で、城主家の菩提寺として建立されたものです。昨年の調査で創建期の本尊阿弥陀如来像が遺存していることが確認されました。等身大の立派な木像で城主の勢力が偲ばれます。



元倡寺阿弥陀如来

福星寺には室町期の毘沙門天像が祀られています。こちらは城の守護神として造立された尊像でしょう。りりしい姿が戦国武将を想わせます。



福星寺の毘沙門天像

真言宗の浪切不動院はおそらくは築城以前から古寺ですが、城主が立派な堂を寄進して城の東側の守りを祈願したことでしょう。城下には港もありましたのでやがて水夫達の信仰を集め、そのことにより水難防止の御利益が広まったものかも知れません。



浪切不動院

国道の喧騒とは打って変わって、成東旧市街には堀割が廻らされる中、社寺が配された静かな街並みが広がります。ゆつくりと散歩しながらふるさとの歴史に耳を傾けてみてください。濱名 徳順 (文化財審議委員)



本行寺

### 【講演会】

「成東城とその城下寺院」

5月8日(土)午後1時半～4時 成東文化会館のぎくプラザ視聴覚室にて聴講無料(先着120名まで)

講師 遠山成一(千葉城郭研究会)、浜名徳順(文化財審議委員)

【市内社寺特別公開】

生涯学習課 ☎1451

主催 山武仏教文化研究会  
共催 山武市教育委員会  
5月22日(土)・23日(日)午前10時～午後4時

\*成東旧市街の諸寺も含めて、市内の社寺の文化財がいつでもに公開されます。

●5月22日(土)のコース

民俗資料館↓勝覚寺↓昼食(オライ蓮沼)↓極楽寺↓五所神社↓光明寺↓成東駅

●5月23日(日)のコース

民俗資料館↓宝聚寺↓昼食↓妙宣寺↓長光寺↓元倡寺↓本行寺↓浪切不動院

受付期日・時間 5月3日～5月9日まで・午前9時～午後4時半まで・各日先着40名、両日申込可  
参加費無料(昼食各自)  
※開催期間は自由に見学できます。

申・問 歴史民俗資料館

☎(82)2842

### さんむのふるさと散歩

#### 左千夫短歌会

南天の

実はことごとく鳥の餌

もみじなる葉をいとおしみおり

永山 洋子

その高さ

六三四になると伝えきく

完成みたしスカイツリーを

前田 一夫

緑こき

野菜が沢山育ちたり

料理考え楽しみつみぬ

今関 礼子

綿帽子

深くかぶれる木々の間に

小とりら遊ぶ雪国育ちの

高崎ヨシ子

強がりを

言わずに生きよう今年こそ

初歩きの道光さん

岡本 秀

凍てる夜

いまだ帰らぬ家族いて

扉を開けて寒さ確かむ

加藤 峰子